

悩み1

そもそも
コミュニケーションが苦手だ…



▼こんなお悩みありませんか？



コミュニケーションが最初から得意だったという人はいません。多くの人が「私はコミュニケーションは苦手だ」というところからスタートしていますので、まずは安心してください。

新入社員は、ある時期、「自分は先輩たちの顔と名前が一致しない」けれど、「先輩たちは全員自分のことを知っている」という状態に置かれます。

先輩たちは皆さんに興味津々ですから、「どう、慣れた?」「何か困っていることはない?」「朝、早く起きるの大変じゃない?」な

どと声をかけてくれることでしよう。それに答えているうちに、あなたの人となりや認識してもらえることが多いです。

まずは1人と仲良く

「支店の全員と仲良くなる」と思う必要はありません。メンター制度をとっている金融機関であればメンターと親しくなるなど、1人でよいので、「自分のことを理解してくれる先輩」を作ることが大切だと思います。

そのためには、「向こうから話しかけてくれるのを待つ」だけで

はなく、こちらから話しかけることも必要です。その際、大切なのは「聴く」ことです。

例えば、事務を覚えるのが苦手であれば「先輩はどうやってマスターしたのですか」と聴きます。

「私は事務のポイントをまとめたサブノートを作ったよ」という答えであれば、自分も真似てみます。そして、自分の作ったノートを見せれば「私はこうしたよ」といったアドバイスがもらえます。すると、それが起点となって別の先輩も話に加わり、会話の輪が広がっていくでしょう。

1人でよいので自分を理解してくれる先輩を作りましょう。業務について質問するなど、自ら話しかけることも必要です



悩み2

入社したばかりで
これからうまく
やっていけるか
不安だ…



今までも経験したことだと思います。不安への対策・行動が吉となりますよ



トリーシートの書き方を工夫したり、SPIの勉強をしたり、面接の練習をしたのではないのでしょうか。「不安だから努力する」と考えれば、「不安」は自分を成長させてくれる強い味方です。

不安は対策で小さくできる

ただ、「これからうまくやっていけるだろうか」という不安は漠然としすぎていますから、具体化していきます。例えば、人間関係についての不安なら「好感を持つもらうにはどうすればよいか」などと考えます。すると、「身だしなみに気を配る」「元気で明るい挨拶を自分からする」といった対策が導き出せます。このような対策を実践していくことで、不安は小さくなっていきます。

大切なのは、新入社員として当たり前前することをきちんと励行することです。そうすることを通じ、先輩たちに「この新人なら一緒にやっていけそうだ」と思ってもらえたとき、皆さんの不安は解消されているでしょう。

新 入行職員にとって社会人生活は未知の世界であり、不安は自身身に抱く感情ですから、「なんかかなるさ」と覚悟を決め、その感情とは付き合わないと決めることも選択肢の1つです。

しかし、皆さんには「不安」だからこそがんばれた経験も多くあるのではないのでしょうか。例えば大学受験や部活動の試合、バイトの初日、そして就職活動。就職活動では不安だったからこそ、エン

悩み3

職場に同期や
同年代の人が
いない…



可愛がられるチャンスでもあります。謙虚・素直でいれば大丈夫ですよ



見方をされる可能性もあります。「1人配属」といっても、悪いことばかりではないのです。

新人らしく振る舞ってOK

また、年の近い先輩がいないため不安というケースもあるでしょう。しかし、先輩たちの視点で考えれば、皆さんが「久しぶりの新入社員」ということになりま

す。学生時代を思い出してみてください。先輩たちは、サークルに入ってきた1年生を見る上級生のような気持ちで、皆さんを見ています。職場に同期や同年代がいな

いからこそ、「待望の新入社員」として、より温かく迎え入れてもらえるでしょう。

大きな営業店は複数人の配属店では「1人配属」になることもあります。内定者研修から新入社員研修を経て、仲の良い同期もできるし、同期の絆も形作られますから、同じ営業店に同期がいなくても不安になるでしょう。

しかし、見方を変えてみましょう。例えば、同期が複数人いれば「〇〇さんはあんなに仕事を覚えるのが早いのに、××君は何回教えても分からない」といった

年の離れた先輩は、みなさんに「かつての自分」や「自分の子ども」を重ねます。みなさんが可愛がられる条件は揃っています。大切なのは、「新入社員らしく」振る舞うことです。緊張していても、謙虚・素直であれば、年の離れた先輩たちは、サポーターにな